

報道関係各位



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



医療法人医誠会

医療法人医誠会 特定技能ケアスタッフ 活動報告

現在ホロニクスグループの施設で、特定技能 約 60 名が介護スタッフとして日々活躍中です。日本の医療・介護の先進的な技術を学びながら日本語学習にも奮闘し、ひとつひとつステップアップを続けています。製造や縫製の仕事で技能実習生として来日した皆さんですが、今は病院で患者さんに接することに喜びを感じ、毎日励んでいます。今年 8 月に特定技能ケアスタッフとして医誠会に入職した、茨木医誠会病院（大阪府茨木市）で働くベトナム出身の 4 名にインタビューを行いました。



特定技能ケアスタッフ

(左から)

レー キン ビン さん

ファム ティ ハウ さん

ホアン ティ チャン さん

レーティニューオン キュウ さん

Q: 日本で技能実習生を目指した理由

ビン 日本から技術を学びベトナムの将来のために役立ちたいと思い来日しました。

チャン 当初来た目的は、お金を稼ぐことが一番大きな目的でしたが、日本に住めば住むほど日本での習慣・形式が好きになり日本に住み続けたいと思うようになりました。日本は景色が最高です。奈良、広島、金沢、京都などに行きました。

キュウ 日本の働き方や、日本語の勉強・知識などを学びたいと思い来日しました。

ハウ 日本人は困ったときも冷静に仕事をしています。それを学びたいと思い来日しました。

Q: 医誠会に入職する前の、技能実習生の時のお仕事について

ビン 飾り箱やお土産の箱、段ボール箱を製造していました。

チャン 縫製の仕事で、スーツや制服などを作っていました。

キュウ 工場でかまぼこ作りを行っていました。

ハウ 縫製のお仕事でズボンなどを作っていました。



本資料に関するお問い合わせ先



トータルヘルスケアサービス
ホロニクスグループ

ホロニクスグループ 医療法人医誠会 医療広報部
TEL.06-6312-2151
Email : koho@holonicsystem.com

Q: 医誠会を選んだ理由

ビン 医誠会で働いていたベトナム出身の友人から薦められたことと、介護を学びたいと思ったからです。患者さんをお世話するだけでなく心から患者さんを幸せにしたいと思い介護を選びました。

チャン 前は岡山県で働いていましたが、大阪に行きたいと思い、支援会社（組合）に医誠会を紹介してもらいました。お年寄りのお世話をしたいと思ったこと、また、人の役に立つ仕事をしたいと思い介護を選びました。

キュウ ベトナムでは幼稚園の先生をしていました。友達から介護の仕事はとっても大変と聞いていましたが、人と接するお仕事である介護のお仕事を選びました。

ハウ お年寄りが好きで、お世話をしたいと思い介護の仕事を選びました。ベトナムで人気のある大阪へ行きたいと思っていたことも理由の一つです。



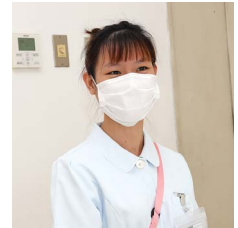
Q: 実際に介護のお仕事を経験し、どう感じていますか

ビン 患者さんは寝たきりの方も多いため、働く前のイメージとは少し違いました。大変なお仕事ですが、介護するにつれ少しずつ患者さんの気持ちが分かるようになってきました。また、仕事の合間に患者さんと歌ったりすることは楽しいです。

チャン 介護の仕事をすればするほど興味がでます。患者さんが嬉しそうな顔を見ると私もうれしくなります。

キュウ 介護の仕事をするうえで、安全が一番と感じているので、それを心掛け日々仕事を行っています。医誠会に入院しているお年寄りの方を、ベトナムにいる私の祖父母と思い接しています。

ハウ 大変なお仕事ですが、患者さんとお話ししたり楽しいこともたくさんあります。



Q: 以前の職場と比較すると

ビン 前の仕事とはレベルがかなり違います。以前は工場勤務で、個人個人で働いていたため周りのスタッフとあまりしゃべりませんでした。介護の仕事になって日本人スタッフのみなさんと話すようになりました。日本語の勉強にもなり、コミュニケーションも増えました。

チャン 前の仕事は別々で作業をしていたので日本人とほとんどおしゃべりをしませんでした。今は患者さんをお世話しながらスタッフに教えてもらいたくさんしゃべります。患者さんともしゃべる機会がたくさんあります。もっと日本語を勉強したいと思っています。

キュウ 前の仕事は機械の操作などがメインでした。また決められた時間内で決められたように仕事をしなければなりませんでした。今は患者さんに合わせて自分で考えて、自分でこれをしよう、こっちを手伝った方がよいなど自分で自由に考えて働いています。

また、患者さんの身なりを整えることが楽しいです。コロナで散髪ができず髪がかなり伸びてしまった患者さんに対して、みつあみを結ったり、爪もきれいにすることで患者さんが喜んでくれとても楽しいです。

ハウ 前の仕事より難しいです。仕事をするためには覚えることがたくさんあります。



Q: 仕事で難しいことは？

ビン 関西弁が難しいです。以前は京都で働いていましたが、大阪とは少し違います。患者さんが言った言葉が分からないことがあります。3 カ月たって少しずつ慣れてきました。

チャン 毎日、日本語を勉強していますが、やはり難しいです。

キュウ 患者さんの名前や漢字が難しいです。ときどき同じ名前があるので間違えないよう注意しています。入浴介助は初め時間がかかっていましたが、今はだんだん慣れてきました。午前、午後に入浴介助の仕事があるとあっという間に一日が過ぎます。

ハウ 日本語が難しいのと、体力的に大変なのは入浴介助です。



Q: 日本語の勉強について

ビン 患者さんが言った言葉が分からなかったら、寮に帰って調べます。また、オンラインの勉強会にも参加しています。もっとたくさん勉強会があればいいなと思っています。

キュウ・チャン・ハウ 「やさしいにほんご」という無料のオンライン勉強会に参加しています。また、3人で一緒に暮らしているので、職場で新しい言葉を知ったら、みんなで教えあいます。

Q: 周りのスタッフの印象はどうか

ビン みなさん優しく、理解できるまで教えてくれます。「ビンさんは料理何作ってるの？」など休憩中に話しかけてくれ、とても気にかけてくれます。

チャン 先輩方にたくさん教えていただけますし、患者さんにも日本語などを教えてもらうこともあります。給茶機（お茶にとろみをつける機械）の使い方も先輩に教えてもらいました。患者さんに合わせたとろみをつけるのも機械のボタンを押すだけなので、簡単にミスなくできています。

キュウ みなさん熱心です。私は仕事がまだまだ遅いですが、指導スタッフの方は「キュウさん大丈夫、大丈夫」と言って励ましてくれます。とても優しくて大好きです。

ハウ みなさんとても優しいです。仕事は難しいことも多く、知らないことばかりですが、周りのスタッフに聞けばすぐ優しく教えてくれます。知らないことを覚えることが楽しいです。



お茶にとろみをつける機械

Q: 今後の目標について

全員 もうすぐ日本語試験があります。2～3年後は N2、N1 を取り、その後、介護福祉士の資格を取るのが目標です。

医療法人医誠会 茨木医誠会病院

指導スタッフの声（ケアスタッフ担当責任者 中釜 由香里 師長）

迎え入れる前は、日本語力はどれくらいだろう、日常会話はできるのかしら等と色々考えを巡らせていましたが、出会ってすぐに杞憂に終わりました。日本語を巧みに話し、笑顔がとても素敵な好印象のみなさんでした。少し日本語の苦手な人もいましたが、同じ時期に特定技能として数名で入職したこともあり、互いに教えあい協力し合って問題を解決する姿があり、指導する側はとても助かりました。入職して3か月、グループ全体で取り組んでいるマニュアル動画などを用いた業務レベルの標準化により、今では日本人スタッフと同じように介護ケアの実践が出来るようになりました。配茶や入浴搬送は患者リストを見ながら業務しなければなりません。そこで日本人スタッフがフリガナをふり、苦手な漢字の読み方をメモしながら覚えていきました。患者さんに話しかけるのも最初は恥ずかしかったようですが、今は日本人スタッフよりもよく声が出ています。何より、笑顔で働く姿や何でも吸収しようとする意欲的な姿は私たちも見習わなければなりません。彼らは茨木医誠会病院の大きな戦力です。